

<ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

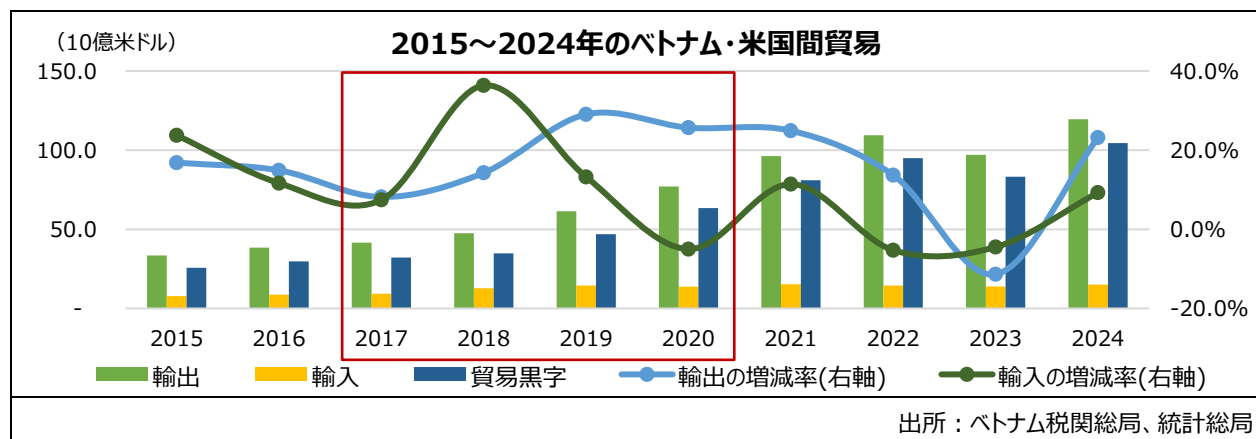
2025 年 3 月 20 日

ベトナムと米国の貿易・投資協力の強化

米国はベトナムにとって外交上で最上位の包括的戦略パートナーシップを結ぶ関係にあり、長年にわたり中国に次ぐ第 2 位の貿易相手国でもある。3 月 13 日、グエン・ホン・ジエン首相特使兼商工相は米国通商代表部(USTR)のグリア通商代表と会談した。2 期目のトランプ大統領就任後、初めての閣僚級会談となった。同日にはベトナム企業と米国パートナー間で総額 41.5 億米ドル相当の合意文書が交わされた。内容としては、米国からの長期での液化天然ガス(LNG)調達、ガス火力発電所設備機器とサービスの調達、エタノールの調達、バイオ燃料の輸入促進などである(次頁の表参照)。

同日結ばれた覚書・協定以外でも、2025 年にはベトジェット航空のタオ会長を含む幹部らがトランプ氏の就任前に私邸(マールアラゴ)を訪問したうえで米国企業との交渉を進めている。2025 年から締結され実施される契約・協定を集計すると 501.5 億米ドル相当となり、航空機の購入、航空サービス、LNG やその他燃料輸入が主なものである。2 月には米スペースX による事業展開を念頭に、ベトナム国内での 100%外資によるインターネット事業実施を認める制度がベトナム国会で承認されている。トランプ新政権による関税施策の発動を回避すべく、米国側が望む分野を中心に互恵的な関係を進めようとベトナムは尽力している。

トランプ大統領の第 1 期(2017 年 1 月～2021 年 1 月)に、政府と企業の取り組みにより、対米国でのベトナムの輸出入は伸長した。



2024 年、ベトナムから米国への輸出額は前年比 23.2%増の 1,195 億米ドルであり、米国からの輸入額は同 9.3%増の 151 億米ドルであった。

2025 年にトランプ氏が 2 期目の大統領に就任してから、世界のサプライチェーンに変化をもたらす数々の大統領令に署名している。ベトナムのような開放経済の国にとって、課題であると同時に機会でもある。ベトナムはこの機会を捉えるため、様々な取り組みを進めている。

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

- 1) 2025 年初より、ベトナム政府は行政機構の見直し・再編を行った。手続き処理時間の 3 割以上の短縮化を目指し、重複機能の解消などの業務効率化とコスト削減に取り組んでいる。
- 2) 1 月 17 日、ベトナムのパンガシウス(白身魚)輸出に対する反ダンピング関税をめぐる世界貿易機関(WTO) 紛争を終結させるため、ベトナム商工省と USTR はワシントンにて二国間合意に署名した。
- 3) 2 月 19 日にベトナム国会で承認されたデジタル変革を促進するための特別制度を試験的に導入する決議に基づき、米スペース X による人工衛星を活用したインターネット事業が迅速に認可される見通しである。
- 4) 3 月 1 日、ベトナムのチン首相は米国企業 38 社と協議し、ベトナムへの研究、投資、および事業面での協力の機会を提案した。
- 5) 3 月 10 日、チン首相は米国を念頭に、包括的戦略パートナーシップを結んでいる相手国の主要製品分類に適用される税率の見直し・改正を財務省に要請する指令 06 を発行した。
- 6) 3 月 13 日、ジエン商工相の米国訪問中に下表の通り、合意文書が締結された。

ベトナム	米国	協力分野	文書
ペトロベトナムガス (PV GAS)	コノコフィリップス (Conoco-Phillips)とエクセレレート・エナジー (Excelerate Energy Inc)	長期 LNG 売買契約	覚書 (MOU)
ビンソン製油石化 (BSR)	ケロッグ・ブラウン・アンド・ルート (KBR)	持続可能な航空燃料(SAF)の事前実現可能性調査に関するコンサルティング	契約
PV パワー (PV Power)	GE ベルノバ (GE Vernova)	PV Power のガス発電所にて GE の機器とサービスを調達	覚書 (MOU)
ペトロリメックス (Petrolimex)	米国の主要エタノール供給協会 3 団体:米国穀物協会(USGC)、再生可能燃料協会(RFA)、グロース・エナジー(GROWTH)	エタノール供給	覚書 (MOU)
ペトロリメックス (Petrolimex)	マーキスエナジー (Marquis Energy)	バイオ燃料の取引と輸入を促進	覚書 (MOU)
マッサングループ (MSN)	米国国際開発金融公社(DFC)	深層鉱物処理への協力に対する財政的支援	意向表明書 (LOI)

出所：ベトナム政府メディア、各種報道を基に CPVN が編集

2025 年は国交樹立 30 周年を迎える両国関係においても重要な意味を持つ。駐ベトナムのナッパー米国大使は米国大使館がベトナム政府機関と協力してパートナーシップを深化させるよう努力すると述べている。

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。